

江別市生涯学習推進協議会 総会を終えて

江別市生涯学習推進協議会  
会長 松山 和子



市民の皆様への生涯学習の場を提供し、会員相互の交流と活動内容の向上を心得ながら、今年度の事業を推進してまいります。加盟各団体の皆様にはさらなるお願いで恐縮ですが、ご参加ご協力をいただけますようお願い申し上げます。

「経験の多いものが、そこに花を植えるとき、社会は成長する。」ということを知り、知識の継承とながりの大切なことを新たに学びました。知ることは、楽しみや喜びに通じるものがあります。正しい知識を得ることは、自分を守ることにつながります。

初夏から盛夏へと季節が刻々と姿を変えて訪れます。暮らしと自然の移り変わりの中でどのように過ごしてゆくのかが問われているような気がします。

会員の皆様におかれましては、ご健勝とお過ごしのこととお喜び申し上げます。

令和6年5月16日、江別市中央公民館を会場といたしまして、当協議会の総会が行われました。多くの団体のご参加とご協力のもと無事に終了することができました事に、心から感謝申し上げます。

江別市生涯学習推進協議会の各事業の運営は、加盟いただいている団体の中から理事を選出いただき、3つの委員会に属して、それぞれの事業を推進するべく、ご尽力いただいております。これにより、円滑に今までの事業を継承しつつ新しい取り組みを加え

総務委員会

総務委員長 團部 真幸

江別市生涯学習推進協議会が設立したのは1995(平成7)年、来年30周年を迎えます。当時は生涯学習体系への移行という国の教育政策の転換を受け、協議会の結成は教育委員会としてもかなり意欲的な取り組みであったと思えます。

協議会の目的は規約に示されていますが、単なる審議機関ではなく協議会を事業主体として位置付けたいという他市にはない特徴があったといえます。

設立翌年には79団体が加入していますが、今年度当初の会員団体は67団体です。市内で活動している市民団体はボランティアサークルをはじめ、協議会設立当時よりはかなり増えていると考えられます。その中で30年近くあじだ会員数が増えるところかむしろ減っているという現状をどう考えたらよいのでしょうか。

今年度は調査研究事業に関するアンケートを行う予定になっていますが、設立30周年を控えて総務委員会所管の事業についてだけでなく、協議会のあり方について根本から問い直す機会にしていへばいいなと思っています。

事業委員会

事業委員長 原子 理香

事業委員会は今年も「ら・ら・らフェス」と「ら・ら・ら」を担当します。例年野幌公民館で開催される「ら・ら・らフェス」は、本年は9月8日(日)11時〜15時まで全館を貸し切って開催します。私たちは市民の皆様に興味を

持つて参加してもらったための秘策を検討しています。この取り組みにより生涯学習という事業をより身近に感じてもらうための、直前まで検討を重ねます。ぜひ楽しみにしてください。

支援事業は、生涯学習推進協議会に所属している会員の皆様が行う講座や研修会、発表会等に対し、費用の一部を支援できるように協議決定し、速やかに執行する予定です。



広報委員長

広報委員長 中村 康治

新年度が始まりました。情報誌「ら・ら」106回を迎え更に充実を図ってまいります。

「手話をまなぼつ」コーナーでは、今までは単語の紹介でしたが、手話の会の方々の協力で今回より、会話形式になりました。手話を身近に感じて頂ければと思います。

また、103号から掲載が始まった「生涯学習の今」コーナーも継続してまいります。種々の活動を紹介するため、QRコードを掲載しています。ぜひ、活動を見ていただき、知っていただきたいと思っています。

今回から、配布方法も若干変わります。郵送費の高騰により、可能な団体には、メールで紙面を配布させていただきます。ご協力をお願いいたします。

ホームページの管理サイトを移管する予定ですが、大きな変更は無い予定です。

本年度7年4回発行いたします。今後ともぜひのごへお願い申し上げます。

令和6年度生涯学習リレー講座

〈えべつ市民カレッジ・道民カレッジ連携講座〉

- 生涯学習に関するテーマで、専門の講師をお招きし、全3回の講座を開催します。今回は、「SDGs」地球温暖化と私たちの暮らしと題し、環境問題についてお話しします。どなたでも参加いただけますので、事前にお申込みの上、ぜひお気軽にお越しください。
- 〈講座1〉地球温暖化のメカニズム  
9月13日(金) 18:30〜20:30  
講師：北海道大学大学院地球環境科学研究院 佐藤 友徳 氏
- 〈講座2〉南極から見ると地球環境  
9月20日(金) 18:30〜20:30  
講師：北海道大学低温科学研究所 青木 茂 氏
- 〈講座3〉「もつと」をどう使う  
9月27日(金) 18:30〜20:30  
講師：えべつ地球温暖化対策地域協議会 岡崎 朱美 氏

〈事務局〉  
江別市教育委員会生涯学習課生涯学習係  
〒067-0074 江別市高砂町24番地の6  
tel: 011-381-1062 fax: 011-382-3434  
mail: shogaigakushu@city.ebetsu.lg.jp



ら・ら・らフェスティバル

〜できること、やりたいことを見つけよう!〜

- 江別市生涯学習推進協議会では、会員の日頃の活動成果を市民の皆さんに発表し、体験していただく場として「ら・ら・らフェスティバル」を開催します。
- ステージ発表やさまざまな体験ブースがあります。あなたのやりたい生涯学習を見つけにぜひお越しください!
- 日時：令和6年9月8日(日) 11:00〜15:00
- 会場：野幌公民館(野幌町1-3番地の6)
- 入場料：無料
- 申込：事前申し込み不要。直接会場にお越しください。
- 主催：江別市生涯学習推進協議会
- 〈ステージ発表〉  
♡江別まつことええ&北海道情報大学によるYOSAKOIソラン踊り  
♡語り・心とりの居る「が」のうらな亭によるえべつ(わか)  
♡江別消費者協会による劇  
♡文京台一輪車クラブによる一輪車ショーなど  
♡体験ブース  
親子や子どもの昔遊び体験、工作、おはなし会、筆ペン講座  
その他、ピザ窯でのピザ作り体験や軽食販売も!(飲食コーナーあり)  
今年はいつりのマルシェやキッチンカーもやっています!



(昨年の様子)



## これからのイベント

### ◆語り・ひとり芝居くるーぶ うるうる亭

(連絡先/北本:090-4877-5798)

#### ○第2回江別deプチ演劇フェスティバル

日時/令和6年10月27日(日)14:00~

場所/中央公民館・コミュニティセンター ホール

入場料/小・中学生500円

大人1,000円(当日1,200円)

### ◆江別市女性団体協議会

(連絡先/鈴木:011-385-3152)

#### ○第72回江別市女性大会

兼 野幌女性協学習会・石狩管内女性大会

日時/令和6年9月7日(土)13:00~

場所/野幌公民館 ホール

内容/講演、ピアノ演奏、防災関係(予定)

#### ○第45回えべつ女性協まつり

日時/令和6年10月6日(日)10:00~16:00

場所/江別市市民会館 大ホール

入場料/小・中学生100円、一般(大人)500円

内容/日頃の練習の成果を舞台発表する場として市民で交流します。

舞踊、カラオケ、中国武術、太極拳、剣詩舞、フラダンス、楽器演奏、ダンス、民謡ほか

### ◆MOA美術文化サークル

(連絡先/向:011-383-3266)

#### ○MOA美術館 江別児童作品展

日時/令和6年10月18日(金)9:30~16:00

10月19日(土)9:30~16:00

10月20日(日)9:30~15:00

場所/江別市セラミックアートセンター

内容/児童の生きる力を育み、より良い社会を創出していくために感性や創造性、情操を養い豊かな心を育てること目的に実施します。



令和5年度江別市生涯学習推進協議会の活動支援をいただき、札幌の人形劇団えりっごさんをお招きし、「ぶしぎの森のヤイヤ」の人形劇を令和6年2月23日に開催いたしました。この時期はインフルエンザが猛威をふるい、

代表 杉中 美津子

子ども文化ネットワーク・江別

令和5年度  
支援事業終了報告

大雪にも見舞われ子どもたちの参加が今ひとつとなりましたが、人形劇の持つ想像の世界、友達への思いやり、あきらめないで続けることの勇気を、久しぶりの生の舞台上に大人の私たちもわくわくして心から楽しみました。全国を股にかけて活躍されている人形劇団で、ご多忙の中にも関わらず、こねっと20周年記念公演を快諾していただいた人形劇団えりっごさんには感謝してもしきれません。コロナ禍で思うような活動が行えなかった日々がこの人形劇を通して、こねっとメンバーに元気を与えてくれました。



今回の活動に支援をいただきましたことあらためて厚くお礼申し上げます。今後は、誰もが安心して活動できる場を確保し、安心して暮らし続けられる社会を目指して活動を開始しました。子どもも大人も、高齢の人も障がいがあっても、母国が日本になくても、どんな背景があっても、誰もが認め合い、支え合い、育ち合う地域の居場所「おちやん家(おんちゃん)」を拠点にさまざまな取り組みを行っています。気軽に立ち寄りつながら「思わぬ」フエ、みんで作ってみんなで食べる「団らん」のあひ食堂、食品ロスの有効活用を目指したフードバンク事業等が主な活動です。また、当法人が活動拠点を置く大森町商店街に足を運んでもらえるよう、定期的にイベントも開催しています。世を超えてつながり、誰ひとり取り残さない、100年後も笑顔あふれるまちづくりを進めていきます。

NPO法人恩おくりは、前団体「NPO 団体おんくりの輪」の活動をより発展・持続させるために令和6年2月14日に法人化しました。

理事長 若本 希

NPO法人恩おくり

会員の活動紹介



NPO法人恩おくりのホームページ

生涯学習推進協議会のホームページ



## 短歌で生活に潤いを

# まなぼう

Vol.23

江別短歌会 会長 二川原 登

今年のNHKの大河ドラマ「光る君へ」は紫式部を主人公とした平安時代の物語です。

紫式部の「源氏物語」は約千年前に書かれた世界的にも大変評価されている日本の誇る文学作品です。

この物語には和歌が八百首も出ています。平安時代は上流社会においては大切なツールだったようです。

それよりさらに三百年さかのほって日本で初めての歌集である万葉集が作られています。

そして鎌倉時代の新古今和歌集、明治の近代短歌、戦後の現代短歌へと変遷していきます。

和歌から短歌へ呼称を変えながら実に三百年の道を連続して歩んできました。

時代の変化、技術の進歩は目覚ましく、今やAI(人工知能)が小説を書く時代になりました。伝統芸術の行方不安を感じる向きも増えています。

長い年月を刻み人間の深い情感をもととする短歌をAIが超えることがはたして出来るのでしょうか。

さて短歌は難しいといわれることがあります。短歌は難しいものではなく誰にも作れます。

「たはむれに母を背負ひてそのあまり軽きに泣きて三歩あゆまず」

有名な石川啄木の歌です。「一読してなんとなく情景が見えてきます。砂浜で老いた母を背負って歩いて歩こうとしている光景です。そしてあまりに軽いことを知るので、特に難しい言葉を使っているわけではないですが哀しみが伝わってきます。

「この味がいいわねと君が言ったから七月六日はサラサ記念日」

この歌は僕方智の歌集でベストセラーになった「サラサ記念日」に取められているものです。普段の話し言葉で作られています。当初は賛否両論がありました。今はこの歌が作られるようになってきました。

現在では文語体、口語体、あるいは旧かな、新かななどこれらのいずれをも用いて自由に歌っています。

短歌は決して難しいものではなく日常の出来事などを歌にすることで生活に潤いを与えてくれます。

江別短歌会では初心者のための勉強会を準備しています。

平易な言葉で自分の思いを五・七・五・七・七の調へにせて歌ってみませんか。



生涯学習の今

このコーナーでは、QRコードを通してよりリアルタイムな生涯学習情報をお伝えします。



今回は、当協議会の会員である「NPO法人えべつ江別まちづくり会」の最新の活動の様子をホームページに繋げて紹介いたします。

## 手話をまなぼう

### バス停での会話



このバスは、どこ行きですか



「QRコード」をスマートフォンアプリ等から読み取ると、手話の動画がご覧いただけます。今回は「バス停での会話」です。

### 《編集後記》

歩道はどちら側を歩けばいいの？先日前を歩いていると前方から来たオッサンにどっちを歩いたらいいかと叱られた。法に規定はない。避けるか突き進むか、自分で出した結論は弱者優先、スマホと自転車に注意だ。こちらを創るときどこか通じる気がする。

広報委員会 鈴木 之男